

家庭生活Cグループ 夏休みの宿題

～保護者への協力依頼・家庭での般化を目指して～

県立川西高等特別支援学校 高橋 紀子

本実践のねらい・意図

授業で行った炊飯や洗濯に関する学習は、
学校だけでは定着は難しい！



夏休みの宿題

効果期待

生徒の実態

1～3年生の男女合わせて10人のグループ



視覚支援



実践

保護者への協力依頼

- ・長期休みを活用して！
→教える人の気持ちの余裕



- ・授業で使った視覚教材！
→学校と共通の支援方法

資料作り

3 スイッチをおす



宿題の回収

家庭生活Cグループ	10人
一人のできるようになった	1
保護者の見守りの下、ほぼ一人で できるようになった	2
保護者と一緒にやっていた	5
未記入 無回答	2

もう少し続ければできそう・・・というご家庭も！

成果と課題



- ・親子一緒に取り組む機会
→大変だけど・・・成長を実感！
- ・家庭の様子が分かる→般化

・未記入、無回答→宿題の記録、もしくは結果をアンケート方式等にして、記入しやすいように工夫！

